

平成29年度

市政モニターアンケート調査結果  
【男女共同参画推進センター「アマランス」について】



長 崎 市  
人権男女共同参画室

## 1. 調査の目的

男女共同参画の推進に関する施策を実施し、市民および事業者による男女共同参画の推進に関する取り組みを支援する拠点施設である「男女共同参画推進センター（アマランス）」を1人でも多くのかたに利用いただくために、広報ながさきをはじめとする市の広報媒体を中心に、長崎市民会館のホームページやアマランスのフェイスブック等、さまざまな方法でアマランスや主催講座等の周知活動を行っています。

今回の調査で、アマランスの認知度や利用度、参加してみたい講座について把握・分析し、今後の周知活動や講座の企画の参考にすることを目的としています。

## 2. 調査の概要

調査期間：平成 29 年 11 月 22 日 ～ 平成 29 年 12 月 6 日

送付数：208 人（郵送モニター 167 人 インターネットモニター 41 人）

回答率：71.2%（148 人）

（郵送モニター 136 人 インターネットモニター 12 人）

## 3. 調査結果

男女共同参画推進センター（アマランス）については、「知っている」と答えたかたは全体の約半数にとどまり、中でも、男性および若年層の認知度が低いなど、広く市民の皆さまに認知されているとは言い難い状況です。また、アマランスを「利用したことがない」と答えたかたの割合は約 70 パーセントと高く、特に 20 代では「アマランス主催講座やアマランスフェスタに参加したことがある」と答えたかたがいませんでした。

施設や主催講座等の情報発信については、広報紙やホームページ、フェイスブック、ラジオ等のさまざまな方法で行っていますが、男性や若年層のかたには情報が十分に届いておらず、また、あまり興味を持っていただけていないことが考えられます。このため、より多くのかたに情報をお届けできるよう発信手段を見直すとともに、認知度が低い男性や若年層のかたにも興味を持っていただけるよう内容を工夫する必要があります。

「男女共同参画」について「知っている」「言葉は知っている」と答えたかたの割合は 60 パーセントを超えており、中でも、20 代のかたの認知度・理解度は高い傾向にあります。しかしながら、全ての年代において「知っている」が「言葉は知っている」を下回っており、その内容まで理解している人は少ないことが分かりました。

参加してみたい講座では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）に

関する講座」が最も多く、次に「男女共同参画社会の基礎知識を得るための講座」「就業支援講座」と続きました。このため、市民の皆さまが興味を持てる内容で、男女共同参画に関する基礎知識が得られる講座を企画する必要があると考えています。

今後は、より多くのかたに男女共同参画や男女共同参画推進センター（アマランス）について知っていただくために、認知度が低い世代等への広報・周知活動を強化するとともに、男女共同参画の推進に効果的な講座の企画に努めてまいります。

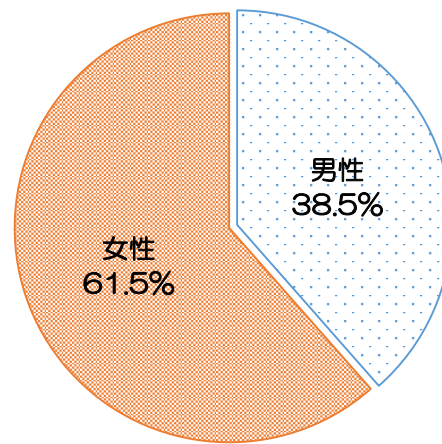
#### 4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100 パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が 100 パーセントを上回る場合があります。

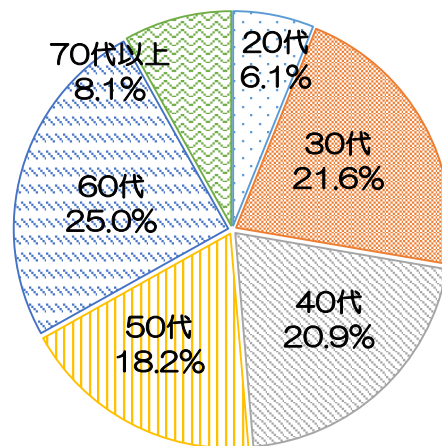
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	57人	38.5%
女性	91人	61.5%
合計	148人	100.0%



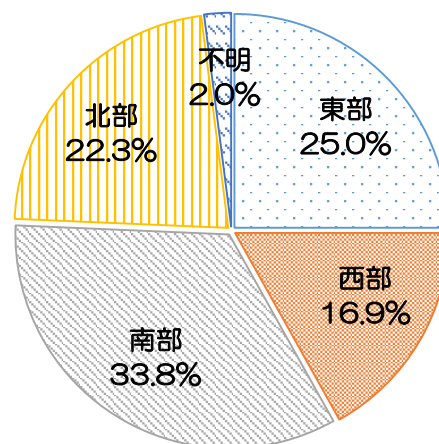
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	9人	6.1%
30代	32人	21.6%
40代	31人	20.9%
50代	27人	18.2%
60代	37人	25.0%
70代以上	12人	8.1%
合計	148人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

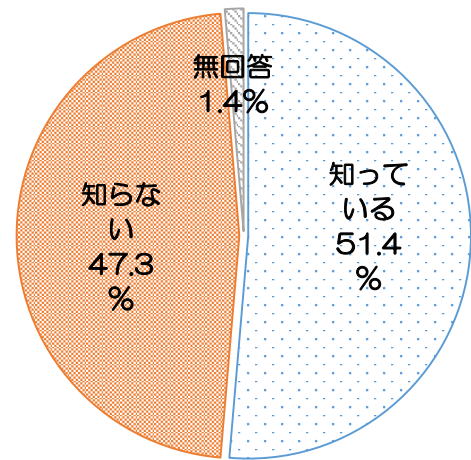
選択肢	回答者数	割合
東部	37人	25.0%
西部	25人	16.9%
南部	50人	33.8%
北部	33人	22.3%
不明	3人	2.0%
合計	148人	100.0%



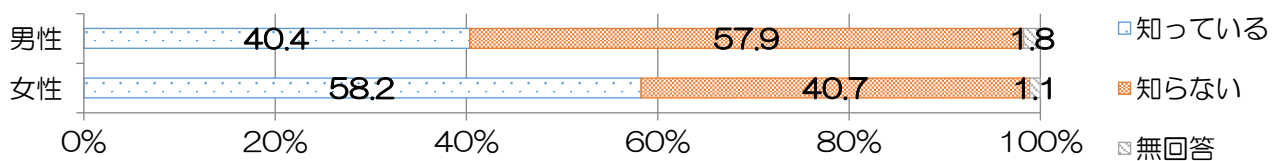
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問 15 男女共同参画推進センター「アマランス」を知っていますか。

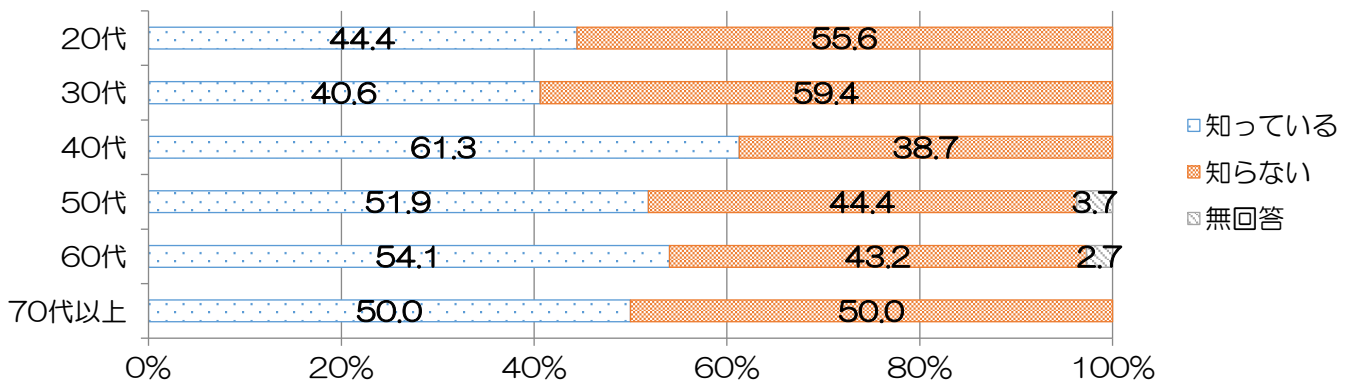
選択肢	回答者数	割合
知っている	76人	51.4%
知らない	70人	47.3%
無回答	2人	1.4%
合計	148人	100.0%



<性別割合>



<年代別割合>



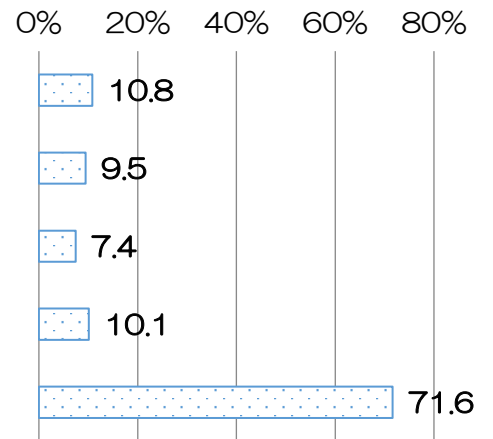
アマランスを「知っている」と答えたかたの割合は51.4パーセントと、認知度の低さがうかがえました。

性別では、「知っている」と答えた男性の割合が女性の割合よりも約18パーセント低くなっています。また、年代別では、20代は44.4パーセント、30代は40.6パーセントと、特に若年層の認知度が低いことが分かりました。

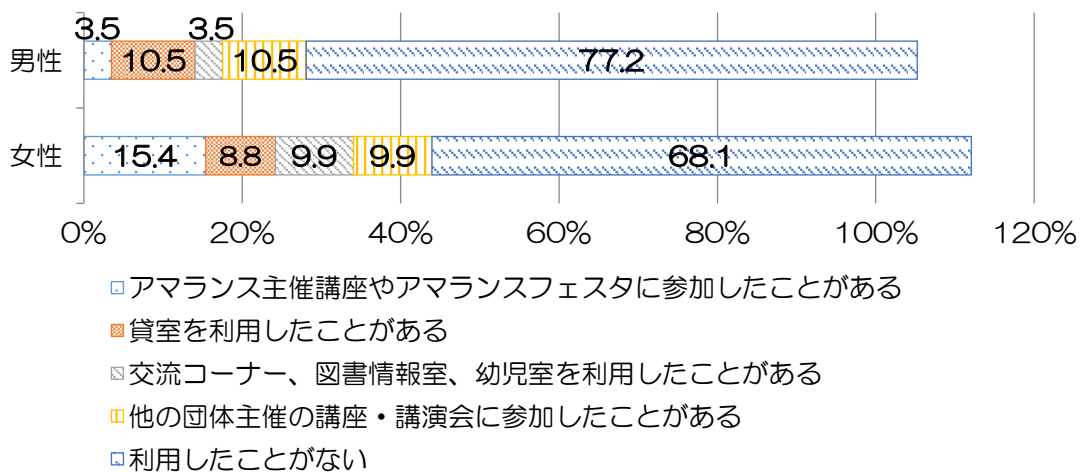
今後も周知に努めるとともに、特に男性と若年層への周知活動を強化する必要があると考えています。

問 16 男女共同参画推進センター「アマランス」を利用したことがありますか。  
 (複数回答可)

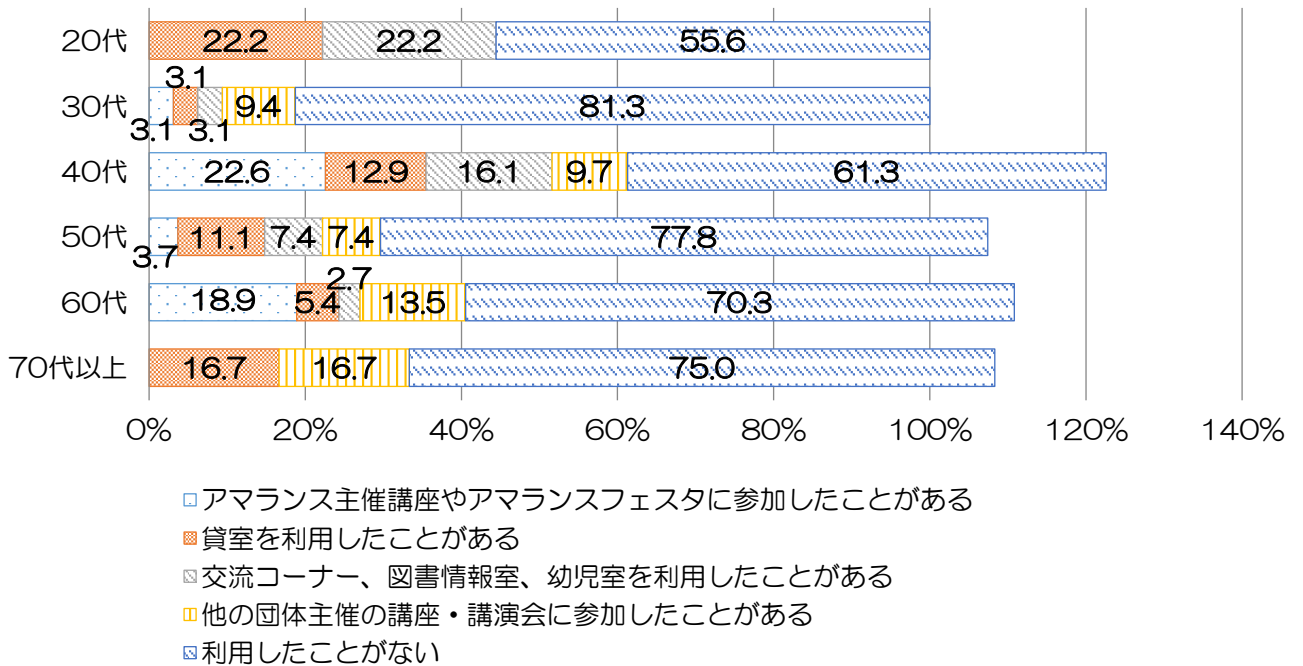
選択肢	回答者数	割合
アマランス主催講座やアマランスフェスタに参加したことがある	16人	10.8%
貸室を利用したことがある	14人	9.5%
交流コーナー、図書情報室、幼児室を利用したことがある	11人	7.4%
他の団体主催の講座・講演会に参加したことがある	15人	10.1%
利用したことがない	106人	71.6%



<性別割合>



<年代別割合>

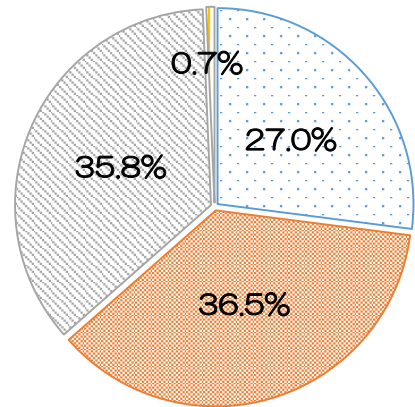


アマルانسを「利用したことがない」かたの割合が71.6パーセントと、「利用したことがある」の割合を大きく上回っていました。また、性別でも男女ともに、「利用したことがない」が「利用したことがある」を大きく上回っていました。年代別では20代で「アマルانس主催講座やアマルانسフェスタに参加したことがある」かたがいなかったことから、今後は、特に若年層への周知活動の強化が必要だと考えています。

問 17 「男女共同参画」について知っていますか。

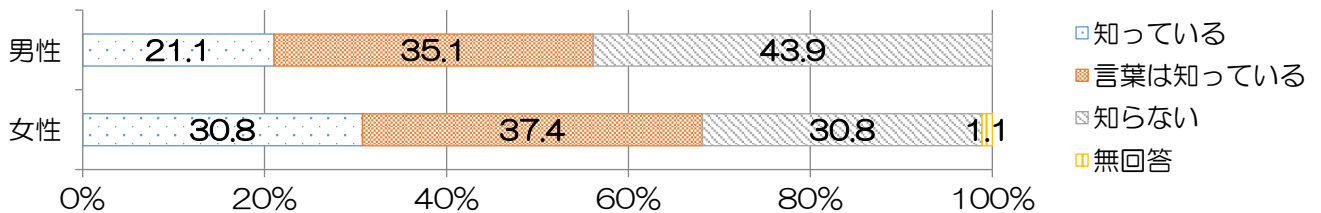
※男女共同参画社会とは、男女の性別によって、活動の場を固定、制限したりするのではなく、一人ひとりが希望や個性、能力に沿って仕事や家庭、地域などのさまざまな活動に参加し、イキイキと豊かな人生を送ることができる社会のこと。

選択肢	回答者数	割合
知っている	40 人	27.0%
言葉は知っている	54 人	36.5%
知らない	53 人	35.8%
無回答	1 人	0.7%
合計	148 人	100.0%

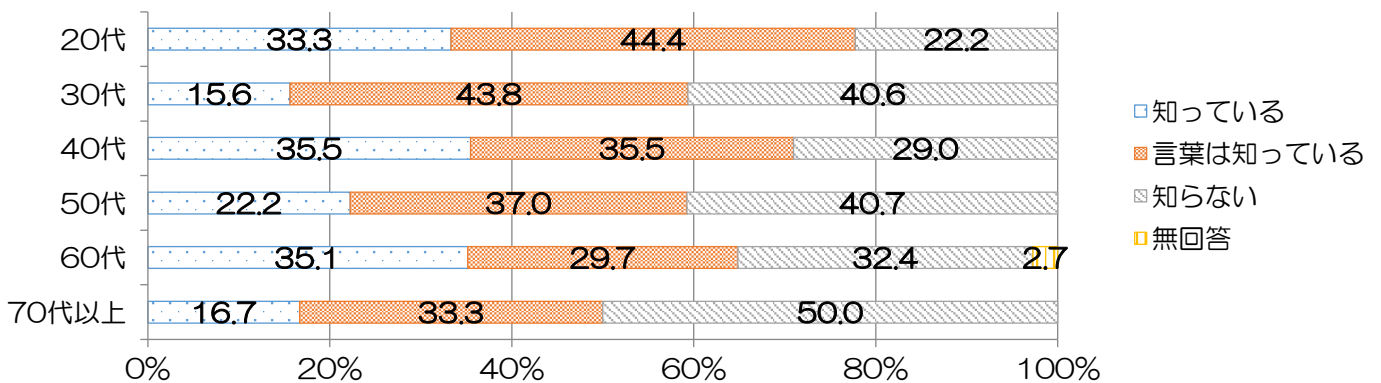


□ 知っている  
 ■ 言葉は知っている  
 ▨ 知らない  
 □ 無回答

<性別割合>



<年代別割合>



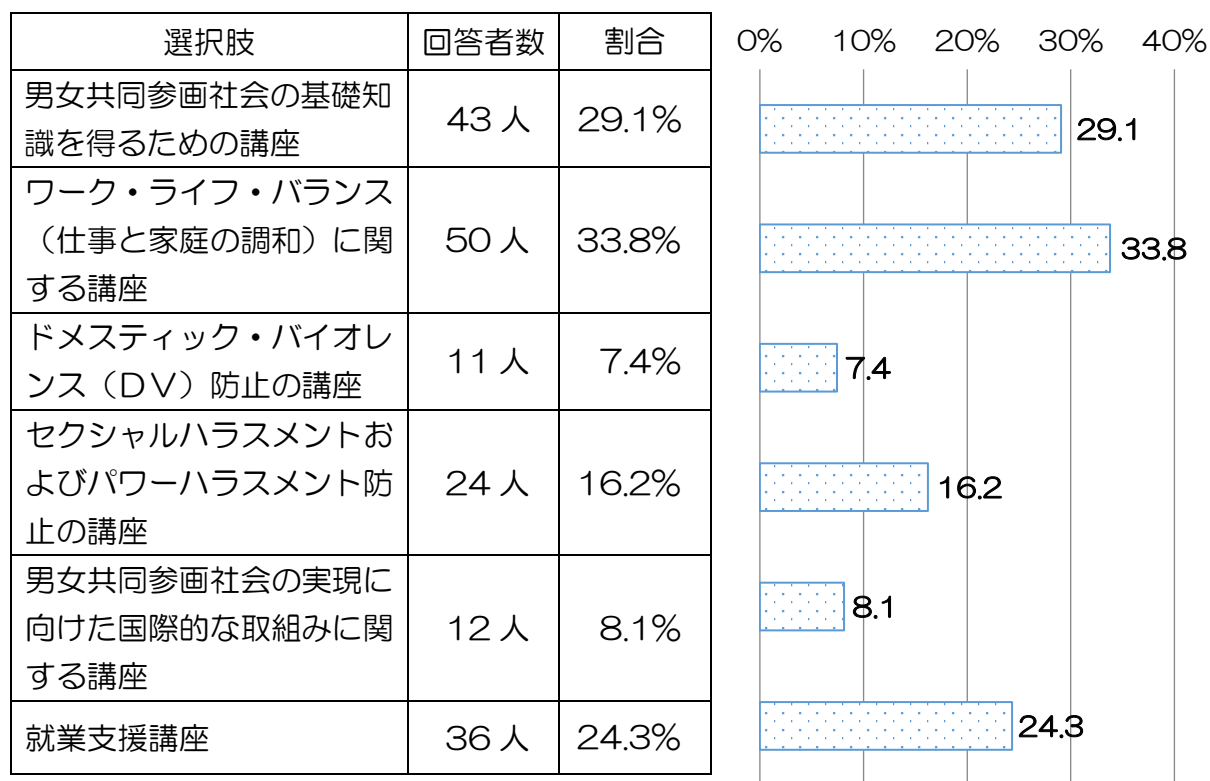


「男女共同参画」について「知っている」「言葉は知っている」と答えたかたの合計は60パーセントを超えており、中でも20代のかたの認知度・理解度は比較的高い傾向にあります。

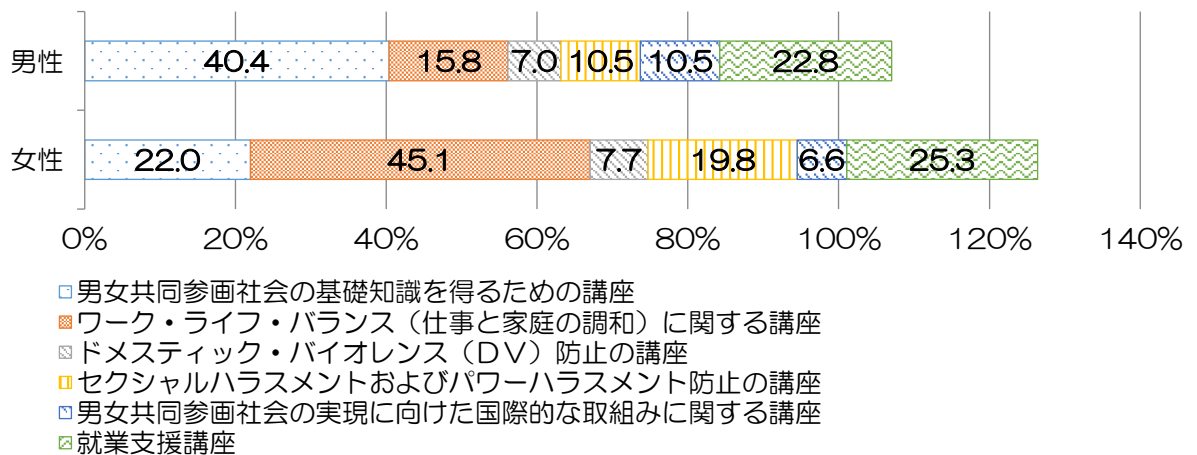
しかしながら、すべての年代において「知っている」が「言葉は知っている」を下回っており、その内容まで知っている人は少ないことが分かりました。

このため、積極的に「男女共同参画」に関する情報を発信することで、幅広い層のかたの「男女共同参画」の認知度を高めていく必要があると考えています。

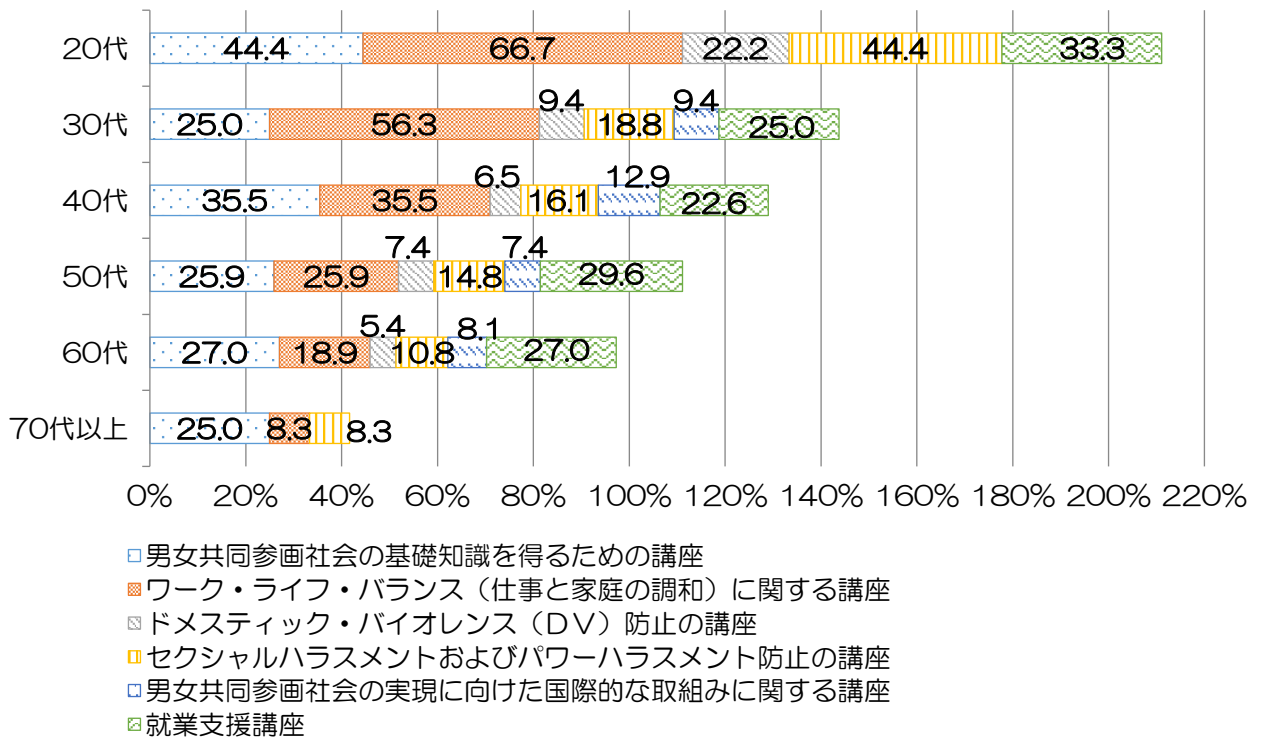
問 18 男女共同参画推進センター「アマランス」では、男女共同参画社会を推進するためにさまざまな講座を企画しています。どのような講座に参加してみたいですか。（複数回答可）



<性別割合>



<年代別割合>



<その他の回答>

- ・ 年齢的に上記の記載の講座へ、自分が参加するとは思えませんが、就業するかたちへの講座は必要で、広めていかなければいけないと思います。
- ・ 定年退職後（65才以降）の再就業支援。
- ・ 女性が活躍するために参考になるような講座。
- ・ パソコン・スマホの講座。

- 男女共同参画という言葉聞いたことがあるだけなので、企画や講座と言われてもあまりピンとこない。まずは男女共同参画に興味が出るような情報が必要では？
- アマランスで講座をやるのであれば、それにはかなり興味がある人しか行かない、行けないので、もっとフラットに企画するべきだと思います。個人的に。
- 特に興味がない。(6件)
- よく分からない。

参加してみたい講座では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）に関する講座」が最も多く、次に「男女共同参画社会の基礎知識を得るための講座」「就業支援講座」と続きました。どの年代であっても「ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）に関する講座」「男女共同参画社会の基礎知識を得るための講座」「就業支援講座」の割合が高い傾向にあることが分かりました。

今後、男女共同参画の理解度を高めるためには、まずは男女共同参画社会の認知度を高めることができる講座が必要であることが分かりました。

現在、国が働き方改革の実現に向けた取り組みを進めており、報道等でも働き方について取り上げられることも多くなってきました。このため、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）に関する講座」など、より身近に感じるテーマの講座を企画し、幅広い層のかたの男女共同参画の推進につなげていきたいと考えています。